

平成25年度第1回林業研究所試験研究評価委員会(事前・中間)評価結果概要

研究評価委員会における4人の評価委員による評価結果の概要は、以下のとおりです。

事前評価対象課題

- ① 伐採跡地における広葉樹の育成技術の開発 評価平均点 16.25点

評価項目

必要緊急性：、緊急に必要(4)

新規独創性：高い(3)、低い(1)

目的達成の可能性：極めて高い(1)、高い(3)

期待される効果：大いに期待できる(2)、ある程度期待できる(2)

出された意見

- ・他県の調査研究結果との比較を念頭に研究をおこなって欲しい。
- ・伐採跡地を継続して研究することは必要である。
- ・固定調査地とそれ以外の皆伐地との比較を検討されたい。

- ② 新植地におけるニホンシカの効率的な捕獲技術の開発 評価平均点 15.75点

評価項目

必要緊急性：極めて緊急に必要(3)、緊急に必要(1)

新規独創性：高い(2)、低い(2)

目的達成の可能性：、高い(4)

期待される効果：ある程度期待できる(4)

出された意見

- ・特徴のある誘引餌の発見を期待する。
- ・捕獲後のと殺と利用法を研究されたい。

- ③ 県産材を活用した耐久型フローリングの開発 評価平均点 14.50点

評価項目

必要緊急性：緊急に必要(4)

新規独創性：高い(1)、低い(3)

目的達成の可能性：高い(4)

期待される効果：ある程度期待できる(4)

出された意見

- ・スギの高品質化にも取り組んで欲しい。
- ・店舗において土足で使用できるフローリングの開発に期待する。

④ 搬出間伐における最適な集材機械の選択に関する研究 評価平均点 13.75 点

評価項目

必要緊急性：緊急に必要(4)

新規独創性：低い(4)

目的達成の可能性：高い(3)、低い(1)

期待される効果：大いに期待できる(1)、ある程度期待できる(3)

出された意見

- ・森林組合などで、集材システムが選択し、使用できる技術にして欲しい。
- ・森林組合などに加えて、素材生産事業等に範囲を広げるなどデータ収集に工夫したほうがよい。

⑤ 列状間伐実施林分の実態把握に関する調査 評価平均点 17.00 点

評価項目

必要緊急性：緊急に必要(4)

新規独創性：高い(4)

目的達成の可能性：極めて高い(3)、高い(1)

期待される効果：大いに期待できる(1)、ある程度期待できる(3)

出された意見

- ・列状間伐と樹幹の形状、材質との関連性についても検討されたい。
- ・森林管理をするための指針づくりに役立つ調査を期待する。
- ・非常に重要にテーマと考える。

中間評価対象課題

① 森林被害防除のための調査研究 評価平均点 17.00 点

評価項目

進捗状況：ほぼ予定どおり(4)

得られた成果：期待以上(2)、ある程度の成果(2)

目的達成の可能性：可能性が高い(4)

課題の取り扱い：飛躍的に取り組みを強める(2)、取り組みを強める(2)

出された意見

- ・シカの行動圏調査から想定している防除効果が明確になることを期待する。
- ・シカの行動圏調査データの解析結果（季節変化、日変化）の続報を期待する。